

# 医芸とSPORTS

## 第33回 広島県医師会囲碁大会優勝記

### ころがり込んで来た優勝

広島 橋本久勝

午後5時に妻に電話した。個人は優勝したけど、団体優勝はなかったよ、

その時の私の声は暗かったという。

第33回広島県医師会囲碁大会地区対抗戦が例年通り、8月の最後の日曜日8月28日に広島医師会館でおこなわれました。

今年も和室で、一年間待ちに待った全県8チームのメンバーで、せまい部屋は込み合った。

朝10時、高杉県医師会副会長(前年まで2連覇)の相変わらずお元氣なあいさつがあり、いよいよ熱戦の火がたがおろされた。

我々広島Cチームは過去一回優勝した事はあるが、その後、苦杯をなめつつ、いかに団体優勝が難しいものであるか身にしみて、又団体の大きな広島に優勝が来ないとの声もあり今年こそはと信念だけは必勝の心がまえであった。

広島Cチームは、Cが示すごとくその昔、堀先生(この方は呉清源に3子で入れられた有名

な人)、山下会長ら、はなやかなりし頃、その下に当時幸田2段、橋本初段らのよせ集めで作られた。その名前の通りのCチームだった。そこで、広島Cチームは独特の作戦をたてた。それは、キャプテンクラスは各チーム高橋先生、倉田先生、それに新進気鋭の川上先生と7、8段クラスが勢ぞろいし、又、呉の吉本先生もおられ、(ちなみに、免許料は7段50万円、8段100万円との事)キャプテンクラスは最難関である。

もともと広島Cチームは、幸田先生が特攻隊としてキャプテンクラスになぐり込み、残りのものたちが高得点をねらうという特殊な作戦をづけていた。

囲碁の団体優勝は難しく、柔道の如く、3勝2敗でトントンと上がれるものでなく、囲碁の場合は5人全員の高得点が必要である。そこに深淵の悲劇が起こる。広島Cチームもこの数年というもの、この泥沼にはまり込んでいた。4



年前岡部先生1人だけが3点どころび、2、3年前は何と、私が2回も3点どころんだ。

皆、紳士だから何も言わないが、いもを引いた一年間はとても苦しく長く、高校野球と同じく春・夏あればと思う。ようやく精進がみのり、私も昨年は良い成績に恵まれて、これで団体優勝がきたかと思つた途端に三好先生の絶叫が会場に響きわたり、今度は先生が3点の地獄におちこんだ。今年も2、3の高名な打ち手が3点地獄におちこまれて、その心中察するにあまりある。



秘石“白蝶貝”の石。今は絶滅、日本に2組あり、1組は東京民主党の小沢一郎五段蔵

さて、いよいよ大会ははじまり、私の初戦の相手は、広大2内科の河野教授であった。私が初戦は慎重にとの思いから、つかたくなり、一方、河野先生は才気あふれ、あざやかな手をうちこまれ、一時は危なかつたが、何とか幸いした。

河野教授の今後のご健闘をいのりた。つづいて福山の豊田先生で、その実力は高く、一時は完全に負けを覚悟したが、一発勝負に出

て何とか残した。

決勝は昨年同様、東部の高橋先生で、又先生か、と、お互いにのしり合った。

後半、敵陣に打ちこんだ私の石が数10目、一個もあまらずうちとられたが、私の序盤の貯金が功をなして何とか幸いした。先生は又も負けたかと、いかりくるって席を立たれたので、来年の私はないであろう。

ちなみに、高橋先生は腹囲1mのムーミンパパタイプの愛らしい体型をしておられ、戦い中、夢中になられると苦しい腹圧のため思わずズボンのベルトとジッパーをおろされるのが愛くるしかった。(ぜひまたお会いしたい)

初めて一回戦に勝って昼めにゆくと三好先生が橋本さん、今年も団体戦はためだ、と外な事を言われた。

初戦で副将以下が3人も敗れては目はないと思われ、三好先生とあれやこれやボソボソと反省した。そばにいた兼山先生もなぐさめの言葉もなく聞いておられた。

幸田先生からも、橋本さん、負けた、わるい、と言われ、私は先生それは既におこみずみだ、次戦がんばろう、と、はげましたが、暗かった。

藤高老師からも、最近、広島は優勝できん、う、と言われ、返す言葉もなかった。

ところが、世の中思いもしない奇跡は起こった。

はじめに書いたとおり、妻に電話した後、試

合場に帰ったところ、三好先生が近づいて来て、「オイ、勝ったぞ」と言われ、個人のことかと思つたら、「ちがう、ちがう、団体戦に勝った」と言われたが、全く信じられず、掲示表の所に行つて見ると何と優勝がころがり込んでいた。皆、天にも昇る喜びでいっぱいになった。岡部先生も喜んでくれて、まさか思いもよらないと思われた団体優勝であった。

高杉先生も帰り際に、先生お書きなさい、しっかりと、と言われた。私は先生ほど喜びを碁器にてんこもりした文章は書けませんよ。

ところでたかかう囲碁の徒からいうと、日本が防衛力と戦いの氣力を喪失して60年という。先日もA新聞社のセスナが竹島に近づいたところ、韓国のフアントム機が4機、ものすごい勢いで攻撃、セスナはあわてて帰ったとの事、対馬の領土帰属も持ち上がっているとか。自分の国は自分で守りたい。国を守るためには、男子18歳から2年の徴兵制が必要となる。テポドンが日本をまたぎ、100人が北朝鮮に拉致されても何も出来ない。今の日本は自分の家のかぎを亭主がとなりの家の亭主に預けた状態で、よくない。バルチック艦隊撃破の気概はない。

ともあれ大会は盛会裏におわった。

囲碁は年齢と共につよくなる。呉の平岡先生は今回も90才にして5人のメンバーに入られ、大活躍であった。

又、日本の囲碁の途絶が言われて久しい。今回も幸田幹事長が質問したところ、30代40代は全くと言っていいほどいなく、最若年が50代では大ピンチである。

ところが待ちに待った奇跡が生じた。吉村師範によると、たまたま若い女性が「ヒカルの碁」というマンガを描いたところ、何のきっかけか突然小学生の囲碁にブームが生じ、広島でも先日、県立体育館での子供囲碁フェスタで親子参加4,000人集まった。日本でもやっと復活したかとほっと胸をなでているようだった。

げに、囲碁の道はたとえて幽玄で奥深く、先日も京大医学部を卒業した坂井が自分自身の棋力の限りをつくしたいと医の道をすててプロの棋士に転向した。

最後に、この大会を盛りあげて頂いた高杉副会長、幸田幹事長および事務方の皆さんに厚くお礼申し上げます、今後も熱い戦いがつくづくように祈っています。

### 第33回広島県医師会囲碁大会(地区対抗戦)選手名簿及び成績総括表

平成17年8月28日

総合順位	1			2			3			4		
チーム名	広島地区C			東 部 地 区			福 山 地 区			佐 伯 地 区		
	順位	選手	得点	順位	選手	得点	順位	選手	得点	順位	選手	得点
主 将	4	幸田 清文	7	3	倉田 要	8	2	高橋 節夫	9	7	川上 恭司	3
副 将	4	中山 茂	7	3	佐野 宏一	8	1	瀬尾 功	11	2	石田 邦夫	9
三 将	1	橋本 久勝	11	2	高橋 世行	9	5	豊田 慶尚	5	3	長谷川 修	8
四 将	4	宮本 哲男	7	5	中西 紀男	5	7	土石川勝司	3	2	安東 直彦	9
五 将	2	三好 久史	9	5	小島敬太郎	5	4	石川 允	7	6	二階堂 融	4
得点計	41			35 (30)			35 (28)			33		

総合順位	5			6			7			8		
チーム名	呉 地 区			広島合同			広島地区A			広島地区B		
	順位	選手	得点	順位	選手	得点	順位	選手	得点	順位	選手	得点
主 将	1	吉本 功	11	6	石根 正博	4	5	滝井 登	5	8	藤高 道也	1
副 将	7	藤原 敬	3	6	中増 正記	4	8	別木 節夫	1	5	岡部 知洋	5
三 将	4	平岡 達	7	8	河野 修興	1	6	兼山 敦	4	7	勝田 静典	3
四 将	3	高杉 敬久	8	1	井口 琇吉	11	6	清水莊一郎	4	8	種村 一磨	1
五 将	7	藤井 信之	3	3	田中 恒夫	8	1	吉田 正身	11	8	堀井 英二	1
得点計	32			28			25			11		

個人得点	1位11点	5位5点
	2位9点	6位4点
	3位8点	7位3点
	4位7点	8位1点